

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市鹿野児童館
2 指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 26,260人(前年度比 109.7%) 令和5年度 23,930人 令和4年度 21,870人
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 44,930千円 (43,847千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館地域運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	31/31
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、こども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
令和6年度も「計画的に＋αを付け加えて」「やってみたいを声に出して」を職員の合言葉に、これまで行っていた行事に工夫・改善を加えて質の高い児童館運営を目指して取り組んできた。小学生対象の季節行事「かくし芸大会」は、カップス、手品等の練習の成果を多くの来館者に見ていただき大盛況だった。体育振興会主催の「鹿野学区民まつり」では「たのしクラブ」の子どもたちやボランティアの中高生が企画から運営まで大活躍した。町内会長さんによる「マジックショー」、町内会の出店「めだかつり」の協力もいただき大盛況で、「子どもたちが楽しんでいる姿を見ることができた」という声も数多く寄せられた。乳幼児対象子育て支援事業では、青葉学院大学子育て支援教室後援の「乳幼児親子向け救命講習」、スモリの家さんのご協力をいただいた「手作り講座」が大好評で、「また参加したい」との声が多く聞かれた。新規事業の「ハーフパースデー」「ハイハイレース」には鹿野学区以外の方にも参加していただき、その後の乳幼児親子行事の参加拡大に繋がる行事となった。子育て支援クラブ「バンビ」と共催した「KANOカレー食堂」には、300人以上の来場者と400食以上の提供があった。また「おゆずり会」にも多くの地域の方に足を運んでいただき大変喜ばれた。児童クラブ運営では、子どもたちが自主的に企画した「ボウリング＆ビンゴ」、「お化け屋敷」を行ったり、子どもたちが作ってみたい工作づくりに取り組む「自由工作」の時間の充実に努めたりしてきた。また、前館長が講師となって実施した「サイエンスショー」「木登り体験」、たくさんの野菜を育て収穫した「かのっこ畑」には多くの子どもたちが参加し、「家では体験できない体験をさせていただいていたありがたい」などの声が多く聞かれた。年間利用者数が2330人増えて、26260人になったことは鹿野児童館にとって大きな収穫だった。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
児童健全育成事業においては、「かのっこ畑」や「かめのこ工房」などを継続して開催するなど、様々な体験プログラムを提供している。これらの活動を通して、子ども達の好奇心を刺激し豊かな感性を育てている。また、小学校のPTA主催行事と同日に実施した「館まつり」は、参加者の増加や児童館認知度の向上に繋がった。土曜日の午後に中高生が優先して遊戯室を使用できる「ぶら〜っとほーむ」は、定期的に利用する中高生が増え、小学生との日常的な交流を通して豊かな人間性を育むと共に、子ども達の居場所になっている。 子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブ「ビヨコ・ノコ」は、シャボン玉遊びや絵の具遊びなど季節に合わせた遊びを提供し、多くの親子が参加している。また、乳児親子対象の「ハイハイレース」や「ハーフパースデー」、乳幼児親子対象の「ちびっこまつり」などの行事を実施している。保護者のニーズに合わせた多様な取り組みで、地域の子育て家庭を支援している。 地域交流推進事業においては、子育て支援クラブや地域の関係者と連携して、「七夕会」や「クリスマス会」などの季節の行事や「まちたんけん」、「おゆずり会」などを定期的に実施している。地域の方々や関係団体との交流を深め、地域全体で子どもの育ちを支える環境作りに努めている。 放課後児童健全育成事業においては、子どもの興味に合わせて遊びを組み立てたり、子ども達が企画運営した行事を実施するなど、子ども達が主体的に過ごそうことができるよう工夫している。また、子どもに関する情報を家庭と共有し、保護者が安心して子育てできるよう支援している。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子ども若者局子ども若者支援部児童クラブ事業推進課